

令和4年度 地方分権改革推進アワード受賞団体

○令和4年度については、以下の4団体が受賞されました。(1/2)

令和4年度受賞団体・選定理由等		
団体名	茨城県	八王子市(東京都)
提案名	指定難病患者が特定医療を受けることができる 指定医療機関等の指定の廃止	応急仮設建築物の存続期間の延長を可能とする見直し
選定理由	<p>●患者が医療受給者証に記載された医療機関以外を利用する場合には、その都道府県への記載変更申請が必要であったが、包括的な記載が可能である旨を明確化することで、指定難病患者及び都道府県双方の負担軽減を図ることが可能となるという<u>住民サービスの向上</u>が期待され、提案実現による効果が極めて高いこと。</p> <p>●全国的制度である指定難病医療費助成制度に関する見直しであり、<u>全国へ広く波及することが期待</u>できること。</p> <p>●指定難病にかかる各種申請手続きが煩雑なため、申請者(患者やその家族等)や行政機関の負担になっていることをデータに基づき明らかにするなど、<u>提案に説得力を持たせるよう</u>尽力したこと。</p>	<p>●応急仮設建築物の継続利用が一定の場合、2年3か月を超えて可能となることにより、地域において、災害復旧・復興等の状況を踏まえ、代替となる恒久的な建築物の建築時期等の最適化が図られるなど、<u>住民サービスの向上、地方公共団体の業務の合理化</u>が期待され、提案の実現による効果が極めて高いこと。</p> <p>●激甚化する災害からの復旧復興が、地方公共団体の大きな課題となる中、本見直しは、地域の実情を踏まえつつ、広く活用されることが期待できること。</p> <p>●<u>医療機関等から臨時の医療施設(PCR検査棟等)の用途</u>に供する応急仮設建築物の継続利用が2年を超える場合の対応について、<u>多数の相談があったことを踏まえて提案されたものであること。</u></p>
受賞写真	 <p>(左)横山係長、(右)森川保健医療部長</p>	 <p>(左から)伊藤開発・建築担当部長、担当主査(2名)、石森八王子市長</p>  <p>(左)加藤内閣府地方分権改革推進室長 (右)石森八王子市長</p>

令和4年度 地方分権改革推進アワード受賞団体

○令和4年度については、以下の4団体が受賞されました。(2/2)

令和4年度受賞団体・選定理由等				
団体名	津久見市(大分県)	砥部町(愛媛県)		
提案名	薬剤師法に基づく調剤制限等の規制緩和	公簿等により生活保護の開始を確認した際の国民健康保険の資格喪失に係る本人届出の省略を可能とすること		
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ●オンライン診療時における薬剤の交付が可能となり、医師が不足する地域における医療の確保や、公立診療所における業務の裁量拡大に資するものであること。 ●一定の条件が付されているものの、診療所内に在庫している医薬品を提供することが可能となり、住民サービスの向上に大きく寄与することが期待され、提案実現により期待される効果が極めて高いこと。 ●医師提供体制の確保は全国共通の課題であり、医師が不足する離島や過疎地、へき地を抱える地方公共団体にも適用される可能性があり、全国へ広く波及することが期待できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活保護部局からの通知等により、国民健康保険の被保険者が生活保護の受給を開始したことを確認できる場合には、市区町村の判断で、国民健康保険の資格喪失に係る世帯主からの届出を省略することが可能となり、被保険者にとっては、書類の記入や市区町村役場へ向く必要がなくなるなど、住民サービスの向上に大きく寄与することが期待され、提案実現により期待される効果が極めて高いこと。 ●全国共通の国民健康保険制度を対象に、生活保護の受給開始に伴う国民健康保険の資格喪失に係る事務負担の軽減に資する内容であり、今般の制度改正は、全国へ広く波及することが期待できること。 ●愛媛県内14市町と共同提案を行い、複数地域にまたがる支障であることを示して提案されたものであること。 		
受賞写真	 <p>(左)川野課長、(右)川野津久見市長</p>	 <p>(右から)朝生事務局長と川野課長 保戸島診療所スタッフの皆さん</p>	 <p>佐川砥部町長</p>	 <p>(左)高市課長補佐、(右)篠原課長</p>